

令和6年度 もりり保育園における自己点検・自己評価

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせるよう改善等を話し合いました。

評価者 園長 松本 美香
主任 牧野 萌
副主任 鷲尾 美喜
栄養士 木村 幸恵
看護師 内野 妙子

A: 十分達成している
B: ほぼ達成している
C: 検討を要する
D: 改善を要す

項目

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
教育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点 目標を設定しているか。	○				年齢に合った保育目標を考えている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は幼児の実態に即して作成しているか。	○				子ども達が自発的に遊びを展開できるような環境構成を工夫していく。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○				
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				年齢に合った活動内容を考え柔軟な対応ができるようにする。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	○				

◎保育の計画の編成を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○				非常勤職員への職務内容の共通理解を図る。	
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○					
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				各種会議事前打ち合わせを2か月前に行い、反省会もその都度行い次年度に活かしていく	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○					
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○					
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				職員同士の職務内容の共通理解を図る。自由遊びでは異年齢児の関りを持っている	
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即しているか。	○					
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○					
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○					
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○				
		(6) 評価、資料を集積しているか。	○					
	保健・安全指導	(1) 年齢別、クラス運営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			ホームページ・週報で情報を発信している。感染症が流行ってしまった為、感染症対策をしっかりとこなう。	
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○					
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○				
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○				
	研究・研修	園内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具体化につながるものであるか。	○				リモートでの研修に参加する。職員のスキルアップに努力している。記録をしっかりとる。
			(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○			
			(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○			
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○					
所外研究・研修		(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○				
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○					

項目	内 容		評価				意見・改善策	
			A	B	C	D		
情報について	(1)	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っているか。	○				取り扱いには十分気をつける	
	(2)	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	(3)	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○					
施設・設備	(1)	施設内外、設備の安全点検を計画的に作成・処理しているか。	○				危険が無いよう心がけながら保育している。	
	(2)	遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	○					
	(3)	不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	○					
	(4)	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○					
出納・経理	(1)	各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○					
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)	他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○				施設慰問は感染症予防の為中止。小学校の交流は行えた。
		(2)	他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、幼児が楽しく過ごし充実感を味わう事ができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○				
		(3)	指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
		(4)	参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	○				
		(5)	日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	家庭・地域社会との連携	(1)	参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			保護者以外の参観も行えるようにしている。
		(2)	保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3)	(乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4)	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれた保育所づくり	子育て支援の推進	(1) 地域の子育て相談や園庭開放をしているか。		○			一時預かり以外にも、子育て支援を行えるようにしていく。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。			○		
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○				
		(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) 週報、ホームページ等で施設の情報を提供しているか。	○				ホームページ・インスタグラムで発信している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			姉妹園間での内部監査実施。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	○				

成果	STEAM保育を取り入れた事により、保育内容が充実してきた。振り返りを行い、今以上により良い保育を目指す。
課題	感染症が流行ってしまった。感染症対策を行っていたが、今一度感染症について職員に共有した。
改善点	職員同士の共通理解をしっかりと行っていく。記録をしっかりと取り、見返せるようにしておく。